

診療科	乳腺科	管理番号	乳腺2-①
レジメン名称	ハーセプチン単独(毎週)(1年間)		
対象疾患・ステージ・適応外の有無等	乳癌		
本治療の位置づけ	HER2陽性の転移・再発乳癌に対しては、化学療法とトラスツズマブの併用療法が標準的であり強く勧められるが、主要臓器転移がなく、病勢進行が比較的緩徐で、患者が化学療法を希望されない症例や、化学療法の適さない症例に限っては、トラスツズマブ単独療法は選択肢となり得る。トラスツズマブの主な有害事象は心駆出率低下であるので、定期的な心機能評価が必要である。		

	投与順	薬剤	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール										
						1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	週目	週目		
治療内容	Rp 1	生食	250mL	200mL/h 90分	div	●										
		ハーセプチン	初回4mg/kg 2回目以降 2mg/kg													
	Rp 2	生食	100mL		フラッシュ	●										
	総投与時間	95分														
	血管外漏出時のリスク	トラスツズマブは、通常、漏出しても炎症を生じない。														
(備考)調製時・投与時の注意点など	トラスツズマブ投与開始後24時間以内に多くあらわれるInfusion reactionのうち、アナフィラキシー様症状、肺障害等の重篤な副作用(気管支痙攣、重度の血圧低下等)が発現し死亡に至った例が報告されている。これらの副作用は、特に安静時呼吸困難(肺転移、循環器疾患等による)のある患者又はその既往歴のある患者において重篤化しやすいので、患者の状態を十分に観察しながら慎重に投与すること。															
1サイクル期間	7日間															